

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月4日

上場会社名 株式会社 中京医薬品
 コード番号 4558 URL <http://www.chukyoiyakuhin.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 山田 正行
 (氏名) 辻村 誠
 配当支払開始予定日

TEL 0569-29-0202
 平成23年12月9日

上場取引所 大

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	3,225	△8.9	74	△59.9	74	△63.2	20	△50.1
23年3月期第2四半期	3,538	△12.6	186	5.5	201	6.3	41	△57.6

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	2.07	—
23年3月期第2四半期	4.14	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
24年3月期第2四半期	5,241		2,245		42.8		222.31	
23年3月期	5,296		2,239		42.3		221.73	

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 2,245百万円 23年3月期 2,239百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2.50	—	2.50	5.00
24年3月期	—	2.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,280	△6.2	150	△38.0	140	△47.1	50	72.4	4.95

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	10,785,734 株	23年3月期	11,385,734 株
24年3月期2Q	679,928 株	23年3月期	1,286,928 株
24年3月期2Q	10,098,763 株	23年3月期2Q	10,098,959 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続き対象外であり、この決算短信の開示時点において金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(7) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における我が国経済は、東日本大震災による深刻な影響を受けたものの、寸断されたサプライチェーンや生産活動の復旧が急速に進み、消費回復や復興需要等による景気の持ち直しが期待されました。しかしながら、その後の復興政策の遅滞や、米国の景気低迷・欧州の金融不安による円高・株安の進行や国際商品市況の高騰により、景況は停滞しており、いまだ先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中で、当社は「もっと健康、ずっと幸せ」を企業スローガンとして定め、お客様が心身共に健康で幸せな社会生活を営むことに貢献し続けていくことを使命として捉え、より一層お客様に「健康」と「幸福」をお届けできる企業を目指すために邁進してまいりました。また、お客様本位の営業を徹底し営業効率の向上と販売管理費削減による財務基盤の強化にも取り組みました。

家庭医薬品等販売事業におきましては、昨年度大規模な営業所統廃合と長期間売上のない顧客より救急箱の引き上げを継続して実施したことにより、営業効率が高まり、また販売費及び一般管理費の削減にも成果が出ましたが、営業人員の大幅減少と昨今の景気低迷の影響が響き売上高は前年同期比減少となりました。

またアクアマジック事業部で展開いたしております売水事業につきましては、今後の事業拡大のために昨年度建設した新工場の稼働が始まり供給能力が大幅に増大したため、物流のあり方をはじめ営業エリア拡大と顧客数増大のあらゆる方策を考えながら事業基盤の確立に努めました。

その結果、当第2四半期累計期間における売上高は3,225百万円（前年同期比8.9%減）、営業利益は74百万円（前年同期比59.9%減）、経常利益は74百万円（前年同期比63.2%減）、また四半期純利益は20百万円（前年同期比50.1%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①家庭医薬品等販売事業（小売部門・卸売部門）におきましては、昨年度集中的に営業所の統廃合と売上実績がない顧客からの救急箱の引き上げ等の改革を行いました。景気低迷や新規採用の抑制等による人員減も重なり、売上高は大幅減少となりました。また営業効率は改善し販売費及び一般管理費の削減効果はありましたが、セグメント利益も前期に比べ減少となりました。その結果売上高は2,988百万円（前期同期比9.7%減）、セグメント利益71百万円（前期同期比54.4%減）となりました。

②売水事業部門におきましては、昨今の健康志向ブームによる飲料水へのこだわりと、拡大するミネラルウォーター宅配市場の成長の波に乗り、早期に中核事業の1つとして確立することを目標としております。よって供給力の大幅向上のため新工場を建設し稼働を開始いたしました。その結果売上高は231百万円（前期同期比3.6%増）、セグメント利益3百万円（前期同期比87.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は2,353百万円となり、前事業年度末に比べ104百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金の減少138百万円、受取手形及び売掛金の増加56百万円によるものであります。固定資産は2,888百万円となり、前事業年度末に比べ50百万円増加いたしました。これは主に投資その他の資産その他の増加73百万円によるものであります。

この結果、総資産は5,241百万円となり、前事業年度末に比べ54百万円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は2,277百万円となり、前事業年度末に比べ503百万円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金の増加605百万円、短期借入金の減少59百万円によるものであります。固定負債は719百万円となり、前事業年度末に比べ563百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少570百万円によるものであります。

この結果、負債合計は、2,996百万円となり、前事業年度末に比べ60百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産は2,245百万円となり、前事業年度末に比べ5百万円増加いたしました。これは主に自己株式の減少258百万円、利益剰余金の減少261百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は42.8%（前事業年度末は42.3%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、676百万円（前年同期比22.6%減）となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は95百万円（前年同四半期は363百万円の増加）となりました。これは主に、売上債権の増加額56百万円、税引前四半期純利益54百万円及び減価償却費31百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果増加した資金は16百万円（前年同四半期は110百万円の減少）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入26百万円及び定期預金の預入による支出22百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は54百万円（前年同四半期は99百万円の減少）となりました。これは主に、長期借入れによる収入298百万円、長期借入金の返済による支出263百万円及び短期借入金の純減少額59百万円によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期の業績予想につきましては、平成23年10月27日付けにて発表いたしました業績予想からの変更はありません。詳細につきましては「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	997,116	859,070
受取手形及び売掛金	418,574	475,476
商品及び製品	335,203	377,919
委託商品	447,836	425,173
仕掛品	63	149
原材料及び貯蔵品	19,483	17,294
その他	254,600	211,345
貸倒引当金	△14,840	△13,122
流動資産合計	2,458,038	2,353,308
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	522,883	508,815
土地	1,713,175	1,713,175
その他（純額）	66,870	67,384
有形固定資産合計	2,302,930	2,289,375
無形固定資産	61,110	53,707
投資その他の資産		
その他	488,350	561,579
貸倒引当金	△14,309	△16,167
投資その他の資産合計	474,040	545,411
固定資産合計	2,838,080	2,888,494
資産合計	5,296,119	5,241,802
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	502,192	516,397
短期借入金	145,000	85,700
1年内返済予定の長期借入金	428,220	1,033,916
未払法人税等	34,657	13,110
役員退職慰労引当金	24,410	—
訴訟損失引当金	86,340	86,340
賞与引当金	192,000	147,000
返品引当金	4,179	7,941
その他	356,580	386,775
流動負債合計	1,773,579	2,277,180
固定負債		
長期借入金	800,560	230,349
退職給付引当金	138,670	138,607
役員退職慰労引当金	294,160	302,080
資産除去債務	4,253	4,296
その他	45,674	44,239
固定負債合計	1,283,319	719,573
負債合計	3,056,898	2,996,753

(単位：千円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	530,950	530,950
資本剰余金	274,115	274,115
利益剰余金	1,992,811	1,731,304
自己株式	△548,245	△289,630
株主資本合計	2,249,630	2,246,739
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△10,409	△1,689
評価・換算差額等合計	△10,409	△1,689
純資産合計	2,239,221	2,245,049
負債純資産合計	5,296,119	5,241,802

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	3,538,841	3,225,094
売上原価	1,154,828	1,124,663
売上総利益	2,384,012	2,100,431
販売費及び一般管理費	2,197,572	2,025,696
営業利益	186,440	74,734
営業外収益		
受取利息	303	249
受取配当金	930	852
受取家賃	10,519	8,796
保険解約返戻金	—	6,112
その他	14,017	3,483
営業外収益合計	25,771	19,495
営業外費用		
支払利息	9,670	8,003
為替差損	175	—
シンジケートローン手数料	—	10,500
その他	600	1,503
営業外費用合計	10,446	20,007
経常利益	201,765	74,222
特別利益		
投資有価証券売却益	—	696
その他	—	54
特別利益合計	—	750
特別損失		
固定資産除却損	—	64
減損損失	22,358	717
投資有価証券評価損	12,335	13,695
災害による損失	—	5,611
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	25,310	—
その他	—	80
特別損失合計	60,004	20,167
税引前四半期純利益	141,760	54,805
法人税、住民税及び事業税	117,731	7,683
法人税等調整額	△17,800	26,250
法人税等合計	99,930	33,933
四半期純利益	41,830	20,871

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	141,760	54,805
減価償却費	22,989	31,329
減損損失	22,358	717
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,245	139
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△4,270	△62
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	8,390	△16,490
受取利息及び受取配当金	△1,234	△1,102
固定資産処分損益 (△は益)	—	64
支払利息	9,670	8,003
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△616
投資有価証券評価損益 (△は益)	12,335	13,695
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	25,310	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△66,392	△56,901
たな卸資産の増減額 (△は増加)	80,853	△17,950
仕入債務の増減額 (△は減少)	105,093	14,204
その他	16,994	△89,470
小計	376,104	△59,633
利息及び配当金の受取額	1,141	1,021
利息の支払額	△9,670	△8,003
法人税等の支払額	△4,387	△29,217
営業活動によるキャッシュ・フロー	363,188	△95,833
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△75,600	△22,200
定期預金の払戻による収入	78,000	26,400
有形固定資産の取得による支出	△112,775	△3,532
無形固定資産の取得による支出	△1,945	—
投資有価証券の売却による収入	—	3,216
貸付金の回収による収入	480	420
その他	1,483	12,146
投資活動によるキャッシュ・フロー	△110,356	16,450
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	15,000	△59,300
長期借入れによる収入	100,000	298,500
長期借入金の返済による支出	△185,758	△263,015
リース債務の返済による支出	△3,156	△6,884
自己株式の取得による支出	△68	△27
自己株式の売却による収入	—	1,510
配当金の支払額	△25,247	△25,247
財務活動によるキャッシュ・フロー	△99,230	△54,462
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	153,601	△133,846
現金及び現金同等物の期首残高	719,447	809,878
現金及び現金同等物の四半期末残高	873,049	676,032

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第2四半期累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高 外部顧客への 売上高	2,762,090	546,775	223,227	3,532,093	6,747	3,538,841
計	2,762,090	546,775	223,227	3,532,093	6,747	3,538,841
セグメント利益	126,766	29,162	30,512	186,440	—	186,440

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	四半期損益計算 書計上額 (注) 2
	家庭医薬品等販売事業		売水事業部門	計		
	小売部門	卸売部門				
売上高 外部顧客への 売上高	2,401,245	587,111	231,303	3,219,660	5,434	3,225,094
計	2,401,245	587,111	231,303	3,219,660	5,434	3,225,094
セグメント利益	48,806	22,226	3,702	74,734	—	74,734

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含んでいない事業セグメントであり、保険事業部門等を含んでおります。

2. セグメント利益の合計額は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「小売部門」セグメントにおいて、八戸営業所の減損損失717千円を計上しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

平成23年5月20日開催の取締役会決議により、会社法第178条の規定に基づき、平成23年5月31日付で自己株式600,000株を消却いたしました。これにより、利益剰余金及び自己株式が255,606千円減少しております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。